

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL <http://www.jaichi.jp>
Eメール info@jaichi.jp
TEL (052) 916-2251
FAX (052) 916-2308

2005.5.10
No.899

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

ピンチをチャンスに!!
魅力的な組合づくりを徹底討論

元気な職場
魅力ある労働組合を
つくる全国集会

日程 6月3日(金)13時～
6月4日(土)13時半
場所 琵琶湖グランドホテル
費用 12,000円
(1泊3食)

NPT再検討会議

世界の反核

平和の流れをつくりだそう

戦後60年、被爆60年の今年。NPT再検討会議が、5月2日から27日にかけて、ニューヨーク・国連で開催され、なんとしても核兵器廃絶の動きを押し進めようというツアーが生まれ、愛知県下から77人が参加、うち自治労連愛知県本部は名古屋市職労5人、県本部長坂、全労連小川青年部長が参加しました。(シリーズその1)



第76回愛知県中央メーデー

白川公園をうめつくした13000人の参加者

平和憲法守れ、働く者がむくわれる政治を

5月1日は日曜日のメーデー、子どもと一緒に家族連れが楽しめるファミリー企画が福祉保育労や名古屋市職労保育園部会、建交労学童保育指導員労組の仲間の協力で行われ、子どもにまじって大人もベーゴマまわしに夢中でした。

白川公園に13000人が集まりました。見崎愛労連議長が主催者あいさつ。「119年前の8時間労働をのスローガンは今も叫

1995年5月には、NPT無期限延長、核軍縮に断固として履行されるべきで、その宣誓を再確認しました。そして、2000年5月の再検討会議では、アメリカも含めて、「核兵器廃絶の明確な約束」を行ないました。ところが、その後、核兵器廃絶は実行されず、未だに、世界で3万発もの核兵器が存在しています。

「核兵器廃絶の明確な約束」を実施させるため、今年のNPT再検討会議にむけ、5月1日のニューヨークパレード・集会を大きく成功させ、核兵器廃絶の大きなうねりを作りだそう、各国政府に要請を、とニューヨークには日本全国から

ばなければならぬ。利益を最優先にした大企業、JR西日本の列車脱線事故はその典型。働く者が人間らしく生き、働き続ける職場が保障されているならば未然に防げた事故である」と訴えました。

名古屋市長選挙で健闘したくれまつ佐一さんも愛労連事務局長として今後も奮闘することを誓うあいさつ。小林武愛知大学教授は、憲法改悪の動きにふれ、5

800人を超える参加者が集まりました。私は4月29日ニューヨークに着、30日原水協主催の公開シンポジウム、アメリカ労働組合との交流集会、5月1日アボリション・ナウ(Abolishon Now)パレードとNY集会などの日程で参加してきました。

4月30日、セント・ジョーン・ザ・デイベイン大聖堂で公開シンポジウムが行なわれ、およそ800人が参加しました。エジプトのマケド大使と反核組織のネットワーク「廃絶2000」のジャッキー・カバソ氏、アメリカフレンズ奉仕委員

月3日は憲法を政府が守り率先して祝う日であること。国民投票法案や国会法改正案など小泉内閣の示した法案は表現の自由や報道の自由を脅かす憲法であり、断じて許してはならない



ファミリーステージで子どもたちが元気にパフォーマンス

会のジョセフ・ガーンソン氏の3人が報告しました。最初に発言したマケド大使は、「NPTが大きな転機を迎えている。2000年の再検討会議で『明確な核兵器廃絶の約束』を誠実に追求すべきだ。時間を限って実行を迫る極めて重要な状況にある。いま、『核兵器の廃絶』署名に対して、道義的な責任を強く感じさせる。各国政府にも圧力をさらにかけるものだ」と述べました。

ジャッキー・カバソ氏は、NPT再検討会議の約束を政府は果たしていないと批判。政府は引き続き核兵器の開発を進めており、外から攻めることが大切。5月1日のパレードと集会を大きく成功させようと発言。

ジョセフ・ガーンソン氏は「戦争は人間が行なうべきものではない。アメリカは約束を守ろうとしていないが、それが孤立を深め没落することになる。私は、日本被団協にノーベル平和賞を与えるべきだと提唱した。」と訴えました。

3人の発言は、あらためて核兵器の保有が矛盾していること、核兵器廃絶の運動が世界中で広がっていること、日本の「NPT再検討会議」要請団がニューヨークにきたことでNPT再検討会議を一



5月1日、ニューヨークパレードに参加した800人をこえる日本代表团

NPT (核兵器不拡散条約)
1968年7月1日、米・英・ソ連が調印し、1970年に発効された条約で、非核兵器国は核兵器を取得しないことを義務付け、核軍縮についても触れられているものの、もともと、米・ソの核兵器独占を狙ったもの。5年ごとに、再検討会議を行っています。

層注目させ、核兵器廃絶と平和の運動を励ましていくことを示しました。改めて、継続した反核運動が核兵器廃絶の動きを進めていることに確信を持つことができました。

域メーデーには全体で1700人が参加、東三河地域では、デモ行進のゴール地点で憲法九条が書きこまれたせんべいを配り参加者に喜ばれました。

自然の恵みに感謝し

第15回あいち食糧メーデー

菜の花まつりで楽しく交流

菜の花ネットワークと連
帯し、菜の花の栽培、鑑賞、
収穫、利用をとおして環境

存会「華鼓」の太鼓でオー
プニング。

主催は自治労連も参加す
る「あいち食糧メーデー実
行委員会」。土井照雄実行

委員長は、「昔はここ豊明
の杓掛切山台は里山でし
た。菜の花があちこちで栽

培され、天然の菜種油が作
られたものです。

現在の天ぶら油の
ほとんどが輸入
品。今回の菜の花
行動も12枚の畑を
借りて進められ、
東郷町の南部保育
園のこどもたちが
植えてくれたもの
が大きく伸びてい
る」とあいさつし
ました。テント前



産直野菜も大好評でした



菜の花がいっせいに咲きほこります

「これが尾張のホレホレバ
ンド」の楽しい演奏で、自
然の恵みや大地を慈しむ歌
が次々と歌われ参加者も楽
しいひとときを過ごしまし
た。

憲法は歴史の英知

草案者のベアテさん講演



講演するベアテ・シロタ・ゴードンさん

行58周年・第40回記念市民
のつどい」(主催・愛知憲
法会議)が5月3日名古屋
市公会堂で開かれました。

2500人が参加し、会
場の大ホールは3階まで満
員、第二会場もあふれまし
た。憲法草案づくりに参加
したアメリカ人女性、ベア
テ・シロタ・ゴードンさん

「戦後60年に問う平和と
憲法」をテーマに「憲法施

が講演しました。
ベアテさんは「押しつけ
憲法」についてもふれ、「新
しい憲法は、抑えつけられ
ていた国民の意思を表した
ものだから喜ばれたので
す。憲法の本当の作者は歴
史の英知だと思います」と
のべ、大きな拍手を受けま
した。

イラクからの報道を続け
るフォトジャーナリストの
久保田弘信さんも講演。森
英樹憲法会議事務局長がま
とめを行いました。



前回の「実技講座」の様子

2005年あいち平和行進コース一覧

戦後60年、今年の平和行進に一人でも多くの方が参加されるよう訴えます。(詳細コースは次号に掲載)

日 程	曜日	コ ー ス
5月31日	(火)	新所原(引き継ぎ)～桜ヶ丘高校
6月1日	(水)	①豊橋市～蒲郡市 ②豊川稲荷～小坂井町役場で①に合流
6月2日	(木)	岡崎市～安城市
6月3日	(金)	①知立市～刈谷市 ②豊田市内
6月4日	(土)	①小牧市～春日井市 ②高蔵寺～勝川駅で①に合流 ③西山(春日井市)～春日井駅 電車で勝川駅①に合流
6月5日	(日)	名古屋集中行進&05ピースアクション
6月6日	(月)	常滑市～東海市
6月7日	(火)	宮川モール(瀬戸)～守山区
6月8日	(水)	名古屋市役所～岩倉市
6月9日	(木)	津島市～稲沢駅
6月10日	(金)	一宮市～JR木曽川駅
6月11日	(土)	江南駅～犬山市(各務原で岐阜へ引き継ぎ)

第8回あいちに働く

ホームヘルパーのつどいの案内

介護保険制度の「改正」

案が国会で審議され強行採
決されました。要支援・要
介護1の利用者がサービス
制限され、利用者は半分程
度になる恐れがあります。

今回は、実技も含めて6
分科会、ケアマネージャー
やサービス提供責任者、支
援費問題など、常勤職員の方にも参加できる内容です。社協職員や民間事業所の常勤・登録ヘルパーの方にも呼びかけます。

◆日時 6月5日(日) 10時開会

◆場所 労働会館・東館ホール

◆記念講演 石田一紀先生(長野大学)

「介護保険法改正の中身と、いま介護労働者に何が求められているのか」(仮題)

◆参加費 1300円(但し、自治労連組合員は無料)申込み〆切 5月27日メド

お弁当は別途700円

第34回生活をいける 華道「華原の会」

2005年

6月18日(土)10時～18時

6月19日(日)10時～17時

※入場は閉館30分前迄に

名古屋市民会館(金山)

3階会議室

いけばな展
入場無料



身近なものを器にして
道端の花をいける

「守れ9条・生かせ憲法運動キャンペーン

自治労連では、「守

れ9条・生かせ憲法」をスローガンに、平和を守り、憲法改悪を許さないとりくみをすすめていきます。全組合員職場・地域で広げるとともに、シンボルマーク、キャラクター、ロゴマ

イク、イラスト、マンガ、絵手紙、短歌、川柳、俳句、作詞・作曲、パロディ、関連グッズなどの作品を募集します。作品は、横断幕、ポスター、ビラなどに活用することや機関紙掲載なども行います。採用分には図書券等のプレゼントがあります。

▼応募先 自治労連 教宣文化局・平和関連作品キャンペーン係

▼応募期間 当面は2005年8月末の定期大会まで

職場の声

◆4月もう終わります。急に暑くなり、30℃を超えました。夏山のシーズン到来です。富士山に登りたいナ(鈴木俊子・蒲郡市職

◆新緑の美しい季節になりました。疲れない程度にハイキングなど楽しんでいま

す(鶴田澄子・名古屋市中職

◆葉桜の美しい頃になりましたが、書類の山は高くなるばかりです。「ツボ

の話」を参考に、書類の山くずしに頑張ります(矢島文教・学事労 ◆今年はい

ンフルエンザにもかからず楽しい冬でした。健保組合加入者本人がインフルエン

ザ予防接種をした時は補助金で2000円くらいおりたらとてもうれしいです。

(小林佐和子・名古屋市中職

労) ◆4月も終わりだと言うのに、寒い日が続き体調を崩し鼻が真っ赤です。市長選は残念でした。もっとみんなの力を合わせないと勝てませんね(中井県次・

名古屋市中職) ◆4月は出逢いと別れの季節ですね。一緒に働いた先輩方が退職されました。長い間お疲れさまでした。(三浦ちえ子・

蒲郡市職 ◆転勤して初めて送ります。新しい職場の人達は今まで送った事がな

いそうです。これからは一緒にクイズを解いて楽しみたいと思います(河合みどり・名古屋市中職)